

田中 俊一

差出人: 田中 俊一
送信日時: 2017年6月13日火曜日 12:09
宛先: XXXXXXXXXX
件名: 【機○】資料(期待)
添付ファイル: 放射線防護基準の課題 (2017年6月) 改訂docx.docx

甲斐先生 :

ご無沙汰しております。また、「放射線審議会」の委員を引き続きになって頂き誠にありがとうございます。

ご案内のように、4月の法律改正で審議会の役割、権限を強化され、私としても今後の審議会の役割に大いに期待しております。

その期待を資料としてまとめて、16日の審議会に参考資料として配付させてもらおうとしたところ、事務局から固く断られてしまい、冒頭の挨拶を口頭でということになってしまいました。

添付した資料は、1F事故の後の深刻な状況も踏まえ、事故当初からの問題意識を含めて整理したものです。16日の甲斐先生の資料も拝見しましたが、これからの審議会の議論では甲斐先生に期待することも大きく、私の思いをお伝えしておきたくお送りさせていただきます。

小生は、9月18日で退任し、その後は再び福島復興に微力を尽くしたいと考えていますが、現在の放射線防護基準、考え方、適用の仕方が、住民帰還の妨げになっているばかりでなく、少しずつ帰還し始めた住民の生活再建に大きな障害になっています。

1F事故は、放射線防護の重要性が再認識されましたが、残念ながら、基準や適用は現実とかけ離れたものでした。これからは、放射線審議会が中核となって、ICRPの基本的な考え方等を踏まえた、合理的な基準に生まれ変わることを期待しています。

伴委員・規制庁には、放射線審議会と二人三脚で、十分にお支えするように伝えていきますので、存分にお使いください。

お忙しいかとは思いますが、くれぐれもよろしくお願いいたします。

6月13日 原子力規制委員長 田中俊一